

モロッコ経済日誌 2016年7月

在モロッコ日本大使館経済班

I. 国内経済

1. 指標等

①中央銀行年次報告書の公表¹

22日、ジョアフリ中央銀行総裁は、モハメッド6世国王に年次報告書(2015年)を進呈した。同報告書によると、2015年のモロッコの経済成長率は4.5%で失業率は9.7%、物価上昇率は1.6%となった。なお、単年度財政赤字は前年のGDP比4.4%に減少した。

②高等計画委員会(HCP)による経済成長率予測²

高等計画委員会は2016年の経済成長率予測値を1.5%、2017年を3.5%と発表した。

③国連貿易開発会議(UNCTAD)「世界投資報告書2015」の発表³

国連貿易開発会議(UNCTAD)が発表した「世界投資報告書2015」によると、2015年の海外からモロッコへの直接投資額(ネット・フロー)は32億米ドルに減少した(2014年は36億米ドル)。アフリカ全体で見るとモロッコはガーナに次ぐ5位となった。

④IMFの予防的流動性枠の承認⁴

22日、国際通貨基金(IMF)理事会は、第2次「予防的流動性枠」(PLL)の設定期限の到来に伴い、第3次予防的流動性枠を承認した。設定金額は25.04億SDR(特別引出権)(34億7.000万米ドル、同基金におけるモロッコ割合の280%相当)であった。

2. 産業

①新投資促進計画の発表⁵

4日、エル・アラミ産業・貿易・投資・デジタル経済大臣は、モハメッド6世国王臨席のもと、新投資促進計画を発表した。5つの新規投資誘致策とともに発表された30の新規投資案件では、3.9万人を雇用予定で、総投資額は75億DHが見込まれている。なお、今後7年間で50万人の雇用創出予定。

¹ オジヨルディ・ル・マロッコ紙、レ・ゼコー紙(7月14日)

² オジヨルディ・ル・マロッコ紙、レ・ゼコー紙(7月14日)

³ エコノミスト紙レ・ゼコー紙(6月22日)、国連貿易開発会議(UNCTAD)ホームページ World Investment Report 2015

⁴ エコノミスト紙レ・ゼコー紙(7月25日)

⁵ ルマタン・エコ紙、エコノミスト紙等(7月6日)

②中国 Yang TZE 社, 電気自動車工場設立⁶

YangTZE 社(中国)は, タンジェにて, 電気バスの工場を設立すると発表。総投資額は10億DHで2, 000人の雇用創出が見込まれている。

③仏スエズ・エンバイロメント社, ルノー社と協力⁷

スエズ社(仏, 水処理・廃棄物処理)とルノー社(仏, 自動車)は, タンジェとカサブランカ(ソマカ工場)にある2つの自動車工場にて発生する産業廃棄物の管理に関する契約を更新した。同契約にて, 3年間スエズ社が同工場にて排出する廃棄物の収集, 分別, 管理, 有効利用, 処理を担当する。

④韓国ユラ社, メクネスに工場設立予定⁸

4日, カサブランカにて, エル・アラミ産業・貿易・投資・デジタル経済大臣が発表した新投資促進計画の一環として, ユラ社(韓国, ワイヤーハーネス)が, メクネスにて, ワイヤーハーネス製造工場の設立に合意した旨発表した。総投資額は2, 500万ユーロで, 1, 000名の雇用創出予定。

⑤仏ラテコエール子会社, カサブランカに工場設立予定⁹

20日, エル・アラミ産業・貿易・投資・デジタル経済大臣出席のもと, 仏ラテコエール社の子会社であるラトシーマ社(LATsima, 航空機ケーブル)は, 航空機ケーブル製造工場の操業開始式を執り行った。

⑥仏ヴァレオ社, タンジェに工場設立予定¹⁰

仏ヴァレオ社は, 自動車産業専用のタンジェ・オートモティブ・シティ(TAC)にて, アフリカ及び中東の新産業プラットフォーム設立予定と発表, 総投資額は5, 000万ユーロで, 敷地面積は8ヘクタール。

⑦ソマカ社, 50万台目生産¹¹

2016年, ルノーグループがモロッコにて生産した28万台の自動車のうち6万台はソマカ社(モロッコ, 自動車)にて生産しているが, 6月, ソマカ社は, 2005年に営業権獲得以降, 50万台目の自動車を生産したと発表した。

⁶ レ・ゼコー紙紙(7月25日)

⁷ エコノミスト紙(7月5日)

⁸ ユジン・ヌベル紙等, (7月7日)

⁹ エコノミスト紙, (7月21日)

¹⁰ エコノミスト紙, (7月21日)

¹¹ ル・マタン紙(7月31日)

3. エネルギー・電気・水

①MASEN, CEA, 太陽エネルギー開発協力¹²

1日, MASEN(モロッコ持続可能エネルギー庁)とフランスのCEA(仏原子力庁)は, 太陽エネルギー研究及び開発にかかる協力合意に調印した。本合意に基づき, ワルザザードに150万ユーロで共同研究所が設立される。本合意は2015年7月に両機関で調印されたパートナー協力合意に関連する。

②ヌール・ミデルト, 第1フェーズ事前審査公示¹³

20日, ル・マタン紙は, モロッコ持続可能エネルギー庁(MASEN)がヌール・ミデルト開発第1フェーズにかかる事前審査(PQ)を公示したと報道。同フェーズでは集光型太陽熱発電(CSP)と太陽光発電(PV)の2つを組み合わせたハイブリッド発電技術で構成予定。

③Gas to Power Project, 土質・区画調査入札¹⁴

13日, ONEE(モロッコ電力・水力公社)は, 現在進行中の Gas to Power Project 枠内にてジョルフ・ラスファールに設置予定のCCGT(コンバインド複合サイクル発電所)建設に係る土質調査及び区画調査を実施する入札を告示した。

4. その他

①ビニール袋の生産・使用禁止に¹⁵

1日, ビニール袋の使用及び製造を禁止する法律第77-15号が発行され, 工業、農業、冷凍保存用, ゴミ用を除くビニール袋の生産, 輸出, 販売, 使用が特例を除き, 禁止される。

②国営マルサ・モロッコ社, カサブランカ証券市場に上場¹⁶

19日, モロッコ株式市場機構(AMMC)は, 40%の国営マルサ・モロッコ社の株式がカサブランカ証券市場に上場したと発表した。

③アフリカ50基金に出資¹⁷

21日, カサブランカ・ファイナンス・シティー(CFC)に本部を置く「アフリカ50基金」は, 第2回総会を開催し, モロッコ中央銀行は2,000万米ドル, 西アフリカ諸国銀行(BECEAO)は500万米ド

¹² ルマタン・エコ紙, レ・ゼコー紙, オジオルディ・ル・マロッコ紙(7月4日)

¹³ ルマタン・エコ紙等(7月20日)

¹⁴ ルマタン・エコ紙(7月18日)

¹⁵ レ・ゼコー紙, ルマタン・エコ紙(7月1日)

¹⁶ ルマタン・エコ紙(7月20日)

¹⁷ エコノミスト紙, ルマタン・エコ紙(7月22日)

ルを出資すると発表した。22か国が合計5億米ドル出資予定で、アフリカのインフラ整備等に拠出される。